


(別紙)

多職種協働のチーム医療プログラム(補助事業)と成長分野等における中核的専門人材育成の
戦略的推進事業(委託事業)の対象の違いについて(H25年度)

	対象時期	
	卒 前	卒 後
対象職種	医学部医学科学生	総合診療医
	看護学科学学生	その他の医師
	薬学部学生	看護師
	医療福祉学科学学生	薬剤師
	理学療法学科学学生	福祉系職種
	心理学科学学生	理学療法士
	歯学部学生	カウンセラー等
	その他	歯科医師
	その他	その他



:補助事業

( :多職種協働のチーム医療プログラム参画者)



:委託事業

※一部、補助事業と委託事業で対象が重なっておりますが、次項に示すとおり
事業の目的・取組内容が異なっており、経費の使用においても混合はありません。

補助事業と委託事業の目的と事業の違いについて(H25年度)

目的	事業	内容(参加者)
補助事業		
総合診療医として多専門職連携を実施し、質の高い患者・住民ケアをチームとして提供できる人材の育成。(総合診療医の育成が主)	・家庭医療の協働実習(医学生と看護学生)	医学科5年生と看護学科4年生を対象として、三重大の他、各地域にある医療機関において4週間協働して家庭医療の臨床実習を行う。(医学科学生・総合診療医のほか、看護学科学生・その他の医師・看護師・その他職種が参加)
	・家庭医療学セミナーin Mie University	「患者中心の医療」をメインテーマに「地域医療」「家庭医療」のさまざまな側面から”よりよいケアを提供するには?”を考えるワークショップ(全7パートのうち1パートが多職種連携関係)を行う。(医学科学生・総合診療医のほか、その他学科学生・その他職種が参加)
	・見える事例検討会ファシリテーター養成講座(実際に活動している総合診療医向けの多職種連携のセミナー)	多職種が連携して難解な事例を扱う検討会を開催する際に進行役となるファシリテーターを養成することを目的とする。難解事例の詳細をホワイトボード上に一枚のマインドマップとしてまとめる。(総合診療医のほか、その他職種が参加)
	・MOREの構築(地域医療と多職種連携を学生に教育するプログラム)	地域住民のニーズを実感・体験し、他職種の活動を理解するために地域住民の会合に出席・地域の医療施設や介護施設の職員と面談。(医学科学生・総合診療医のほか、看護学科学生・その他職種が参加)
委託事業		
多職種が協働して、社会人、女性、生徒・学生の就労、キャリアアップ、キャリア転換に必要な実践的な知識・技術・技能を身につけるための教育カリキュラム等を開発・実証すること(多職種協働のためのカリキュラムを全職種が平等に構築。学生教育が主体)	・三重IPEプログラム	全職種の学生でグループを作り、模擬医療面接、患者のケアプラン作成を行う。(全学科の学生、全職種)